

令和2年度 田村市立船引中学校 学校評価報告書

教育目標		<基本目標>自ら学び、健康で豊かな心をもつ生徒の育成 自主 自ら考え、判断し、実践する生徒 健康 心身ともに健康で思いやりのある生徒 責任 責任を自覚し行動する生徒	【評価基準】 A：十分満足 B：おおむね満足 C：もう少し努力すべき D：大いに努力すべき				
中期経営目標		短期経営目標（評価項目）	自己評価		学校関係者評価		改善策等
			達成状況	評価	考察	評価	
学力向上	○基礎学力の定着を図る。 ○多様な言語活動による思考力・判断力・表現力等の育成を図る。	①単元構想を明確にもって授業を進めている。毎時間、本時のねらいを明確に提示して授業を進めている。	全教員が単元構想をしっかりとって、教材の準備や授業を進めることができた。また、一単位の授業のねらいを明確にもって、授業を進めることができた。	A	授業のねらいを明確にすることは重要です。引き続き取り組んでください。	A	生徒の基礎・基本の定着や思考力・判断力・表現力等の育成のために、一単位の授業構想や単元構想の充実を図り指導にあたりたい。
		②明確な目的をもってペア・グループ学習を準備する。本時のねらいに迫るように話し合いをコーディネートする。	コロナ禍で、教科によってはペア・グループ学習をさせることが難しい教科があったが、概ねどの教科においても、課題解決のための手段として、ペア・グループ学習を積極的に取り入れた。	B	積極的に発表できない生徒が少数ですがいます。あいさつを含めて、小中連携も必要かと思います。	B	単元構想の中に、ペア・グループ学習を計画的に位置づけ、思考の共有と吟味を促す学び合いの充実を図りたい。
		③授業の振り返りをしっかりと行う。	「ねらいの明確化」→「ねらい達成のための手立て」→「学習内容定着のための振り返り」は授業構想の基本である。教員の意識に差があるのが現状である。	C	多忙極まりない現状の中、授業を一つ一つ振り返ることは難しいと思いますが、工夫・改善に努めてください。	C	教員の意識改革を図り授業構想の基本である一つ一つの授業の振り返りを丁寧に、授業のねらいが達成できるよう改善に努める。
豊かな心の育成	○規範意識、コミュニケーション能力、自己有用感を高める。 ○豊かな情操を育てる。 ○基本的な生活習慣を確立する。	④生徒のよさを認め称賛する場を設定し、自己肯定感を高めるよう心がける。	教育活動の様々な場面で、生徒の積極的な活動を指導・支援し、称賛しようと心がけている先生方の姿勢がうかがえる。	A	「ほめてやらねば人は動かじ。」よいことを称賛することは大切なので、継続していただきたい。	A	称賛の言葉が生徒の心に響くように、生徒の活動の場を丁寧に、よさを価値づけしていきたい。
		⑤特別の教科 道徳や学校生活の中で豊かな心や「生命を尊重し、明るく思いやりをもって接し友情を深める」指導をしている。	取組が不十分な教員が一部いたが、概ね、適切な指導をすることができた。教育活動全体において、生徒の豊かな心の醸成を心がけた。	B	教育活動全般において、豊かな心の醸成を心がけて取り組んでください。	B	特別の教科である道徳科を要として、学校の教育活動全体を通して生徒の豊かな心の醸成に努めたい。
		⑥生徒会活動や清掃活動を通して、奉仕の精神や協力し合うことの大切さを伝える。	取組が不十分な教員が一部いたが、概ね、適切な指導をすることができた。教育活動全体において、奉仕の精神の育成に努めた。	B	集団活動において体験した中で、奉仕・協力の精神をはぐんでください。	B	日々の生徒会活動や清掃活動、学級での係活動等の励行を通して、奉仕や協力の精神をはぐんでいきたい。
体力の向上	○積極的に運動に参加する。 ○健康維持に努める	⑦生徒が健康に関して、自分で判断し気をつけて生活できるように指導する。	取組が不十分な教員が一部いたが、概ね、生徒が健康に留意して生活できるように、適切な指導をすることができた。	B	健康づくりについては、先生方の言葉かけがとても大切です。先生方全員が「満足」と評価できるように努力してください。	B	養護教諭や食育推進コーディネーター、保健主事等が中心となり、生徒が健康に気をつけて生活するよう計画的に呼びかける。
		⑧生徒の健康について、養護教諭等と情報交換を行い、適切な指導・支援を心がける。生徒の体力向上や健康維持に関して、家庭との連携を心がける。	取組が不十分な教員がいたが、概ね、生徒の体力向上や健康維持について、教員間や保護者と連携を図ることができた。	B	コロナ禍での体力向上・健康維持について、家庭との連携が重要です。	B	今後も家庭との連携を図りながら養護教諭や保健体育科教員を中心に全教員で、生徒の健康維持や体力向上を呼びかける。
信頼される学校	○保護者や地域に開かれた学校づくりに努め、信頼される学校を確立する。	⑨生徒にとって、安全・安心な学校づくりに努める。	取組が不十分な教員が一部いたが、多くの教員が安全・安心な学校づくりのために取り組んでいる。	B	安全・安心な学校づくりの取組を継続して行ってください。	A	生徒が安心して学校生活を送れるよう、毎日の管理力所点検の徹底や防災マニュアル等を適宜確認・活用するなどの取組を徹底する。
		⑩スクールカウンセラー、心の教室相談員等と連携し、生徒指導や支援にあたっている。	取組が不十分な教員が一部いたが、多くの教員がスクールカウンセラーや心の教室相談員、学習・適応支援教室の職員等と連携しながら生徒指導や保護者に対応した。	B	生徒は、どんな先生に出会うかによって人生が変わってしまうこともあります。少人数の声に本気で耳を傾けてください。	B	問題行動等の早期発見・早期解決を意図して組織・チームで対応できるようにするとともに、「報告・連絡・相談」の徹底を図る。
教職公務員として	○生徒・保護者・地域の信頼のため、不祥事根絶に努める。	⑪教育公務員として、絶対に不祥事を起こさないように心がける。不祥事根絶のため、職員同士で相談したり、声かけを行ったりする。	教員の不祥事防止に対する意識は高い。不祥事を他人事ではなく、自分事として受け止め、「絶対に職場から不祥事を起こさない」という雰囲気がある。	A	教職の立場ということで、特に大きく取り扱われるので、職場から絶対に不祥事を出さないという意識をもつことが重要です。	A	服務倫理委員会のもち方に工夫を加え、「不祥事を自分事としてとらえる」「絶対に不祥事を起こさない」という一人一人の意識を高める。
		⑫職員同士、互いに協力し合って仕事を進める。	学年や教科に関わる仕事、また部活動等において、教員同士、適宜情報交換をしながら協力して職務を遂行している。	A	協力し合うことはよい仕事につながります。風通しのよい職場環境の維持を継続してください。	A	忙しい中ではあるが、教員同士のコミュニケーションをしっかりと図り、「しなやかで高め合う協働」で職務にあたる雰囲気づくりに努める。